

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、於呂圏域） 第2回会議 議事録

開催日時	令和3年11月10日（水）10時00分から11時45分まで
参加者	委員：12人 事務局：1人 関係機関：4人
場 所	浜北地域活動・研修センター
内 容	<p>1. 開 会</p> <p>2. あいさつ 会長より挨拶</p> <p>3. 協議</p> <p>（1）情報交換『新型コロナウイルス感染と地域福祉活動の問題点について』 現状について、それぞれの立場でお話いただく。</p> <p>【委員からの意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でお祭りなどいろいろな行事、イベントが中止になっている。自治会の会合などについては、コロナ対策をしながら行っている。草刈り等の町内活動は例年通り実施している。 ・いきいきサロンや防災訓練は規模を縮小して実施予定。今後状況が読めないため、ある程度落ち着いていく状況と再び感染が増えていく状況の両方をみながら活動を考えていく必要があると思う。 ・民児協の全体会議ができない状況であった。社会情勢をみながら、今後会議等徐々に進めていこうという話がでてきている。地区ごとでの高齢者の安否確認や見回りについては、感染対策を考えると会って直接話すことができない状況である。電話をかけたりする状況だった。買い物へ行けないなど、どういった状況になっているのか非常に心配している。やはり状況を把握できなかったのが、大きな問題ではないかと思う。 ・地域で認知症カフェや地域福祉事業を行っているが、ずっと中止していた。居場所も休止状態で、来年以降は様子をみながら進めていく予定。 ・家事支援事業は、緊急事態宣言が発表されている間、作業を中止していた。11月に申込みがあった家事支援については、全部実施した。感染症には十分に注意しながら、できることから前に進めることを考えていきたい。 ・シニアクラブは高齢化している中で、気力が薄れてしまっている。スマホ講座は8月に行えなかった。認知症講座はこれからやる方向で進んでいる。文化作品展では展示する塗り絵などを募集している。 ・施設の面会は中止していた。10月中旬から制限つきで面会を再開した。コロナの影響でボランティア活動が長期間受入れできない状況となっている。

- ・顔を見てお話できない、表情を見てできないということでは、生活しにくい環境であると感じている。
- ・今後、ますます地域との連携が求められる中で、施設としては地域との交流を回復していく必要がある。慎重な対応が求められる中では、次年度に向けて環境を整えたいと思う。
- ・高齢者の課題では、自粛によって基礎体力の低下、社会活動性など、多方面に悪影響を及ぼすことが問題であると思う。
- ・地域に向けた研修では、今までは一つの会場で研修という形をとっていたが、今年からは、オンライン（Zoom）研修で行い、わざわざ会場まで足を運ばなくても、事務所や自宅から参加できるような形で研修の方向を取らせていただいた。今月も来年度以降もそのような形で行う予定。
- ・電話での相談があり、特徴的なのが、活動の場に行けないということで、気持ち落ち込む、体力・足腰が弱ってしまう。もともと忘れっぽい症状がある方が、最近また物忘れの症状が目立ってきたという相談があり、実際に介護保険を申請したというケースが多かったと思う。
- ・今までは、地域のシニアクラブでサロンなどの活動に参加していた方が、参加する場を失い、利用できる場を介護保険の通所サービスにつなげた方がいる。
- ・総会等多人数の会合や福祉交流会等の高齢者の集会は中止した。家事支援事業の活動は継続して行っていた。今は何よりも関係者、協力員、コーディネーター、運営委員会、依頼者を含めた人たちの健康を最優先ということで行ってきた。相談・検討のうえ、実施しなかったものもある。
- ・難しく大変だと思うが、状況を見てやれることを少しずつスタートしていければと思う。

(2) 移動スーパー『とくし丸』について

株式会社杏林堂薬局より説明をしていただく。

4. 次回の開催予定など

5. 閉会

今後の見通し等

次回会議予定：令和4年 2月16日（水）10：00～浜北地域活動・研修センター
今後の協議内容については、協議体会長と包括於呂、市社協で検討していく。